



北海道大学  
大学院情報科学研究科



# LST NEWS

No.4

December 2005

第4号(平成17年12月)

## 北工会卓球大会情報工学科優勝 —情報卓球チームの20年を振り返って—

コンピュータサイエンス専攻 助教授 野中秀俊

平成17年度北工会学科対抗卓球大会は、12月5日から12月20日までの日程で開催されました。昨年3位だった情報は、シードチームとして環境（3勝2敗）と対戦し、準決勝の土木（4勝1敗）を経て決勝にて強豪機械（3勝2敗）を破って優勝しました。

今年の情報チームの登録選手は以下の通りです。

青木 賢（主将、混沌系工学M2）

青木 寛（情報認識学B4）

多田崇俊（情報解析学B4）

森下和真（知能情報学B4）

高橋茂樹（情報工学科B2）

村山聖太（情報工学科B2）

教職員：

北島秀夫（メディアダイナミクス）

川村秀憲（調和系工学）

姜 錫（メディア創生学）

野中秀俊（知能情報学）

4年前の初戦敗退以降、主将としてチームを引っ張ってきた青木君（修士2年）、2年前の優勝に貢献した青木君と多田君（学部4年）が今年も大いに活躍しました。学内の卓球大会で優勝経験があり（このことは後で判明）、唯一現役体育会卓球部に所属していない森下君（学部4年）が4年目にして初出場し、皆を驚かせました。高橋君と村山君（学部2年）は主にダブルスで出場しましたが、現役の卓球部員がダブルスを組んで出場するという恵まれたケースは、少なくとも最近20年間で初めてのことだと思います。

北工会卓球大会は、一貫してシングルス3、ダブルス2×2の7人でチームを構成し、さらに教職員を2名以上含まなければならないというルールになっています。実は対戦ごとに教職員2名をクリアすることが毎年難題となります。今回は出張等でご多忙のところ川村先生、姜先生に出場して頂きました。北島先生が情報チームに参加されるのは実は今回が初めてです。過去に公務員卓球大会でチーム優勝の経験があり、強豪旧電子に所属していた当時、相当の腕前だったということが、ほとんど伝説となっていました。「20年以上ラケットに指も触れたこともない」ところを、会場にお越しいただきましたが、お手合わせ願ったところ、とても20年のブランクを感じさせない重いドライブを受けることとなりました。

筆者は主力メンバーではありませんが、情報チーム結成当時から

出場していたということで、原稿執筆の白羽の矢が立ったものと思われます。そこでこの機会に旧学科設立まで遡って過去の情報チームの足跡について自分なりに簡単に振り返ってみたいと思います。

### 1987年5月 旧情報工学科設立

学科が設立されてもまだ学部生が居ない状態のため、前年までと同様に、前身である情報工学専攻として、共通数物チームに属して出場しました。当時共通数物チームを主導していたのは工業数学の前田隆先生（現道情報大）でした。情報からは、当時はまだ大学院生だった種市信裕先生（現帯広畜産大）、渡邊慎哉先生（現札幌学院大）が常連として出場していました。筆者は1985年から出場するようになりましたが、最初に出場を促してくれたのが種市先生であり、最初にダブルスを組んだのが渡邊先生でした。当時のルールは「教職員または女子が2名以上」でしたので、たまたま応援に来ていた河口万由香先生（現情報数理学）が混合ダブルスに急遽出場したこともあります。共通数物チームとしての最後の出場である1987年は、A組優勝を飾ることができました。

### 1988年～1996年 旧情報チーム

前年まで卓球大会は、土木、建築、衛生、資源、金属、機械、機械II、精密、電気、電子、応化、合成、応物、原子、共通数物、共通化学、中央 の17チームで対戦しましたが、1998年、情報チームが共通数物チームから独立し、共通数物と共通化学が合併して「共通」チームとなりました。当時はA組、B組に分かれており、B組（9チーム）の優勝チームが直ちにA組に昇格し引き続きA組（9チーム）の対戦に参加します。またその年のA組の最下位チームが翌年のB組に転落します。当然のことながら情報はまずB組からスタートしました。



平成17年度卓球大会優勝の賞状

最初の数年間、情報チームは主に情報工学専攻の大学院生と研究室に配属した学部4年生によって構成され、この時期に活躍した教職員としては、渡邊慎哉先生（現札幌学院大）を筆頭に、坂本雄児先生（現メディア創生学）、三谷和史先生（現小樽商大）、遠藤聰志先生（現琉球大）、塩谷浩之先生（現室蘭工大）、三田村保先生（現道工大）などが挙げられます。対戦成績は以下の通りです。

- 1988 B組2位 (A組優勝：電子)
- 1989 B組6位 (A組優勝：共通)
- 1990 B組優勝、A組5位 (A組優勝：電子)
- 1991 A組4位 (A組優勝：土木)
- 1992 A組3位 (A組優勝：金属)
- 1993 A組最下位、B組転落
- 1994 B組5位 (A組優勝：土木)
- 1995 B組2位 (A組優勝：機械)
- 1996 B組4位 (A組優勝：精密)

初回はB組2位という予想以上の成績でした。このときは「名譽よりも楽して実（賞品のビール）を取るならば、B組2位が最適である」などと発言した人もいました。卓球大会に遅れるごとに2年、学部生が学科移行してきた1990年に北工会運動会でも情報チームが独立し、16チーム中14位という結果で出発しました。運動会終了後、工学部玄関前にて、当時の工学部長・北工会会長である柴田拓二先生（北海道工業大学第7代学長）より、「情報チーム独立あめでとう。ただし、もし今後情報が優勝したときには逆立ちする。」というありがたいお言葉を頂きました。奮い立った我々は、4ヵ月後の卓球大会でB組優勝を果たし、その後の4年間、A組に残り続けました。因みに、さらに6年後の1996年7月、北工会委員長の新保勝先生（現北海道情報大学）、北工会学科代表の川嶋稔夫先生（現はこだて未来大）、及び北工会体育部の棟朝雅晴先生（現基盤センター）の指揮のもと、情報チームは北工会運動会で遂に優勝を果たしました。またこの優勝は旧学科チーム体制による最後の運動会での永久保存版優勝ともなりました。

1995年4月、工学部改組に伴い、精密、電気、情報、電子の各学科が再編され、情報エレクトロニクス系：情報、電子、システムの新学科になりましたが、卓球大会及び運動会は2年間、旧学科チームの体制で実施されました。

#### 1997年～ 新情報チーム

1995年の改組に伴い、2年後のこの年から運動会とともに新学科チームの体制になりました。材料、応化、情報、電子、システム、応物、原子、機械、土木、建築、環境、資源、中央の13チームでA、B組の別はなくなりました。本年にいたる対戦成績は以下の通りです。

- 1997 3位 (対機械戦および対システム戦で敗北、優勝：システム)
- 1998 —
- 1999 3位 (対機械戦で敗退、優勝：機械)
- 2000 1勝 (対機械戦で敗退、優勝：機械)
- 2001 0勝 (対材料戦で敗退、優勝：機械)
- 2002 準優勝 (対機械戦で敗退、優勝：機械)
- 2003 優勝
- 2004 3位 (対機械戦で敗退、優勝：機械)
- 2005 優勝

#### 1997年

この年は、初の新学科チーム体制であると同時に最後の「キー方式」による実施でした。トーナメント方式（勝ち抜き戦）

では、敗者復活や3位決定戦を行わない場合、シードの設定によらず、チーム数  $n$  に対して対戦回数は  $n-1$  となります。因みにリーグ方式（総当り戦）では対戦回数は  $n(n-1)/2$  となります。トーナメント方式の場合1回敗北するとそれで終わりですが、キー方式では2回まで敗北することができます。実際の対戦の組合せの設定には工夫を要しますが、1997年以前の北工会誌の卓球大会成績表を見て頂くと様子がわかると思います。キー方式の場合の対戦回数は、優勝チームが全勝か1敗かによって  $2n-1$  あるいは  $2n-2$  となります。

この記念すべき年はシステムが優勝しました。情報はシステムと機械に負け、3位が確定しました。上記の対戦成績を見ると、この期間（2001年の1回戦敗退を例外として）、「優勝チームは情報に勝ったチームか、または情報」であることがわかります。

#### 1998年

情報エレクトロニクス棟建設のため、旧卓球室が廃止となり、残念ながらこの年の卓球大会は中止となりました。前年まで現在のL棟の西側に1階建ての旧M棟（現在のA12視聴覚室A13講義室および情報事務室のあたり）があり、その一番奥が卓球室でした。常時卓球台が4台（卓球大会開催時は3台）設置され、ある程度のロフトが上げられる天井の高さでした。また現役の卓球部員がここを練習場に使える程の広さを有していました。

#### 1999年～2004年

R棟1階に新しい卓球室が設置され、この年から北工会卓球大会が再開しました。但し卓球室の広さの制限により1日1対戦となりました。その結果、試合数が制限されることによりキー方式からトーナメント方式に変わりました。つまり対戦の組合せが順位に大きく影響することになりました。一方工学部改組に伴い、エース級の木下正博先生（現道工大）や内貴猛先生（現システム工学科）が情報チームに所属することになりました。成瀬継太郎先生（現会津大）や俞文偉先生（現千葉大）なども情報チームとなり、学科内教職員の卓球人口は一時急増しました。その結果「教職員2名以上」という条件がさほど問題にならない時期がしばらく続いたようです。また同時にその研究室の学生さんも同様に活躍していました（今でもそのときの顔ぶれをはっきりと思い出しますが、全員の名前を網羅する自信が無いので敢えて控えます）。2003年の優勝のときは青木君(B4)、青木君(B2)、多田君(B2)がこれに加わって、相当強いチームになっていました。

#### 2005年

実は今年は「教職員2名以上」のクリアに若干難航しました。主将の青木君から「今年は卓球部員だけでも5人揃うという好条件で、情報がもし負けるとしたら唯一、教職員が2名未満で失格という状況しかない」と解釈できる重い報告を受け、筆者も約10年ぶりに（密かに）事前練習を行うとともに、久々に本気になって急遽選手集めに回りました。そのような中で、期せずして北島先生の往年のドライブに接する機会を得たわけです。川村先生や姜先生がかなりの腕前であること、ジェプカ先生（言語メディア学）が昨年の大会で活躍されたことなど、卓球をされる先生が意外とおられることを今回初めて知ることができました。

情報というチーム名はあと数年で消滅する見込みです。20年前のことを思い出すのは難儀でしたが、完全に忘れてしまう前にこの機会に文章にしておこうと、思い出すままに綴った次第です。時間があれば、関係の皆さんから情報を集めつつ正確な記録にしたいところでしたが別の機会に譲ります。

## 情報科学研究科ホームページ

([http://www.ist.hokudai.ac.jp/index\\_jp.php/](http://www.ist.hokudai.ac.jp/index_jp.php/))

- 北極会母校交流会「Home Coming Day」を開催  
研究科TOP>ニュース>2005.10.17
- 「北海道大学・ソウル大学ジョイントワークショップ」を、  
ソウル大学において開催  
研究科TOP>ニュース>2005.11.8
- 平成18年度修士課程第2次入学試験情報を掲載  
研究科TOP>ニュース>2005.12.13
- 平成18年度博士後期課程第2次募集要項を掲載  
研究科TOP>ニュース>2005.12.13
- 「北と南から、日本が変わる、世界が見える」北海道大学・  
九州大学21世紀COEプログラム活動報告会開催予告を掲示  
研究科TOP>ニュース>2005.12.21.

## 広報ホームページ

(<http://www.eng.hokudai.ac.jp/news/publication/>)  
研究科TOP>広報>工学研究科・情報科学研究科・工学部広報

### 【ニュース】

- 第7回8大学情報系研究科長会議開催
- 大学院情報科学研究科 「実システム開発指向高度人材育成  
プログラム」の遠隔授業を開始
- 新教員紹介（平成17年10月1日付）
- 自衛消防訓練実施
- 新教員紹介（平成17年11月1日付）
- 年末年始期間中の留意事項
- 平成18年度科学研究費補助金申請状況

### 【受賞】

2005年8月11日	田中 章 他3名
コンピュータサイエンス専攻 助手	
国際会議 "Seventh International Conference on Computing Anticipatory Systems (CASYS'05)" のシンポジウム "Computing Systems, Automata, Simulation, Information Networks" Best Paper Award 受賞	
2005年9月3日	遠藤 維
システム情報科学専攻 修士課程2年	
2005年度 精密工学会北海道支部学術講演会 優秀プレゼン テーション賞 受賞	
2005年9月3日	水野 学
システム情報科学専攻 修士課程1年	
2005年度 精密工学会北海道支部学術講演会 優秀プレゼン テーション賞 受賞	
2005年9月12日	二ツ森 俊一
メディアネットワーク専攻 修士課程2年	
電子情報通信学会マイクロ波研究会第3回学生研究発表会 優秀賞 受賞	

2005年9月17日	清水 貴文
システム情報科学専攻 修士課程1年	
2005年度精密工学会秋季大会学術講演会 ベストプレゼン テーション賞 受賞	
2005年10月7日 皆川 良弘 他4名	
複雑系工学専攻 修士課程1年	
情報処理北海道シンポジウム2005 優秀賞 受賞	
2005年11月15日	Dr. Premila MOHAN
情報工学専攻 日本学術振興会外国人特別研究員(PD)	
4th International Symposium on Surface Science and Nanotechnology (ISSS-4), The Best Poster Prize 受賞	
2005年11月25日	
日江井 一石	システム情報科学専攻 修士課程2年
沖田 篤士	情報工学専攻 修士課程1年
鷲見 勇紀	メディアネットワーク専攻 修士課程2年
鳥羽田 明広	メディアネットワーク専攻 修士課程2年
小川 貴弘	メディアネットワーク専攻 修士課程1年
今 宏史	メディアネットワーク専攻 修士課程1年
平成17年度電気・情報関係学会北海道支部連合大会 優秀論 文発表賞 受賞	

### 【人事異動】

#### [教授]

(採用) 平成17年10月1日	
中村 仁之輔	システム情報科学専攻 (東京オフィス)
(採用) 平成17年10月1日	
嘉数 衍昇	(寄) 複合情報学専攻 オープンシステム工学講座

#### [助教授]

(採用) 平成17年10月1日	
齊藤 晋聖	メディアネットワーク専攻 情報通信システム学講座
(辞職) 平成17年12月31日	
下岡 聰行	生体人間情報科学専攻 生体システム工学講座 (埼玉医科大学へ)

#### [招へい教員]

(委嘱) 平成17年11月1日	
合田 隆史	

#### [大学院連携分野教員]

(委嘱) 平成17年11月1日	
伊藤 文和	(連) システム情報科学専攻 実システム開発講座

**[助手]**

(採用) 平成17年11月1日	
伊達 宏昭	システム情報科学専攻 創成情報学講座

**[技術職員等]**

(採用) 平成17年10月1日	
佐藤 健二	総務課企画係

**[事務補佐員]**

(異動) 平成17年10月1日	
細矢 乃梨子	工学系教育研究センターへ
(異動) 平成17年10月1日	
大松 理奈	総務課企画係 (研究科長秘書)
(異動) 平成17年10月1日	
大坪 のどか	総務課企画係

**【訃報】**

平成17年11月13日 享年90歳	
松本 正	旧・電波伝送工学講座 名誉教授

**フォトギャラリー**

冬の朝

写真提供：山本 学（メディアネットワーク専攻）

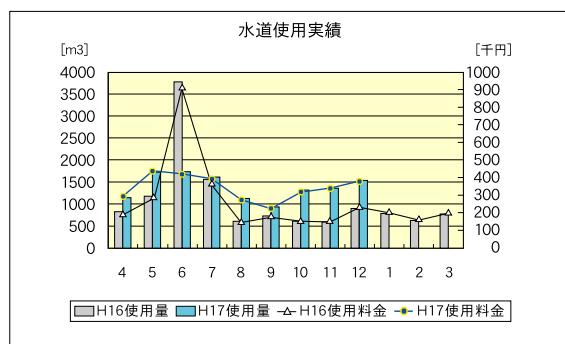
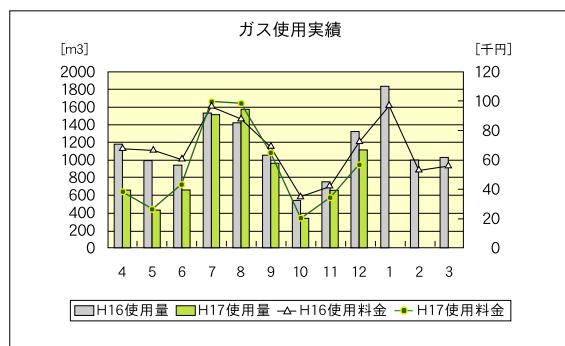
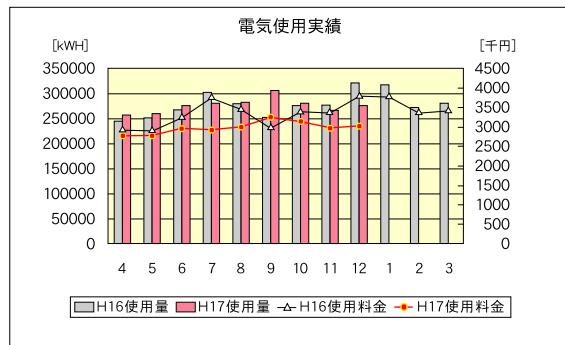


古河記念講堂

写真提供：山本 学（メディアネットワーク専攻）

**光熱水費推移**

10～12月期は、夜間休日のエレベーター部停止の影響か、電気代が減少してきました。ガスの使用量も昨年度比マイナスを継続しており、順調です。皆様のご協力に感謝いたします。水道使用量に関しては、今年度からメータが新設されて正確に計測されるようになつたため、節水効果について昨年実績（推定値）と比較するのは意味がありませんが、今後とも節水対策は必要です。引き続き光熱水費節約にご留意願います。（副研究科長 小柴正則）

**I S T NEWS No.4**

平成18年1月31日発行

発行：北海道大学大学院情報科学研究科 広報・情報室